

三島市の家計簿

三島市の平成26年度一般会計決算は数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「みしま家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入・支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、1年間の生活費が500万円の家庭に置き換えて作ってみました。)

(単位：万円)

みしま家の家計簿

収入

1年間の収入状況

収入項目 (市の予算項目)	金額
基本給与 (市税)	238
諸手当 (分担金および負担金)	11
パート収入 (使用料および手数料など)	40
銀行からの借り入れ (市債)	53
預金の取り崩し (繰入金)	5
親からの仕送り (地方譲与税・交付税など)	46
医療費や家の修繕に対する補助金収入 (国・県支出金)	107
計	500

支出

1年間の支出状況

支出項目 (市の予算項目)	金額
食費 (人件費)	94
医療費 (扶助費)	104
光熱水費・通信費・日用品 (物件費など)	126
家の修繕 (投資的経費)	73
子どもへの仕送りなど	51
(特別会計への繰出金)	
ローン返済 (公債費)	52
計	500

みしま家の収入の特徴

みしま家では基本給与が1年間の収入の半分程度で、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。預金もそんなに多くは残っておらず、基本給与や諸手当、パート収入の増に期待したいところですが、親からの仕送りにも頼らざるを得ない状況です。収入は不安定な状態が続くと予想されるので、支出を抑えていくことが大事です。



Q. 三島市の市税収入って増えているの、減っているの？

A. 収入の根幹の「市税」は、増加してきているよ。



市税収入の推移

平成26年度	174億 950万円
平成25年度	172億3,756万円
平成24年度	168億4,922万円
平成23年度	169億3,069万円
平成22年度	168億 915万円
平成21年度	172億1,845万円
平成20年度	177億4,742万円
平成19年度	176億7,345万円
平成18年度	161億9,993万円

みしま家の支出の特徴

医療費の占める割合が、全支出の約21%と多くなっています。家の修繕にかかる金額も増えてきているなかで、光熱水費の支払いやローンの返済なども行わなければなりません。子どもたちには、独立して頑張ってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。食費、光熱水費などを切り詰めているものの、さらに努力をしなければなりません。



Q. どんな経費が増えているの？

A. 社会福祉費や児童福祉費、生活保護費などの増加で、扶助費が増加しているよ。



扶助費の推移

平成26年度	74億2,951万円
平成25年度	69億2,932万円
平成24年度	68億6,960万円
平成23年度	66億9,125万円
平成22年度	63億8,706万円
平成21年度	45億2,231万円
平成20年度	41億4,483万円
平成19年度	40億8,418万円
平成18年度	38億3,313万円

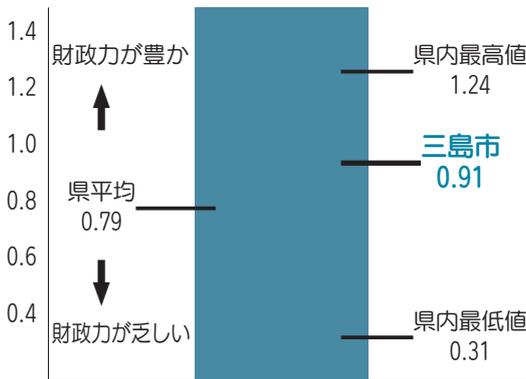
平成26年度

財政指標による比較

財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率を、県内35市町の状況（県発表速報値）と比較しました。

※数値については速報値のため、今後変動する場合があります。

◎財政力指数（市の財政力（体力）はどのくらい？）

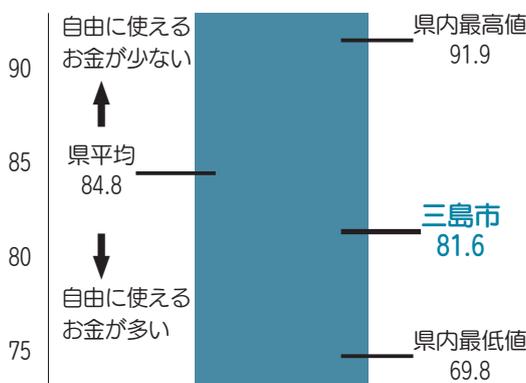


三島市の状況 0.91（県内順位：11位 /35市町）

今後も滞納市税の回収強化などにより税収の確保に努めるとともに、企業立地の推進を図るなど新たな税源の涵養に努めます。

財政力指数（3カ年平均） 自治体が行うべき標準的な行政サービスにかかる費用と、市税収入などの見込額とのバランスを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があるとされ、1.0を超える市町には普通地方交付税が交付されません。

◎経常収支比率（市の自由に使えるお金はどのくらい？）

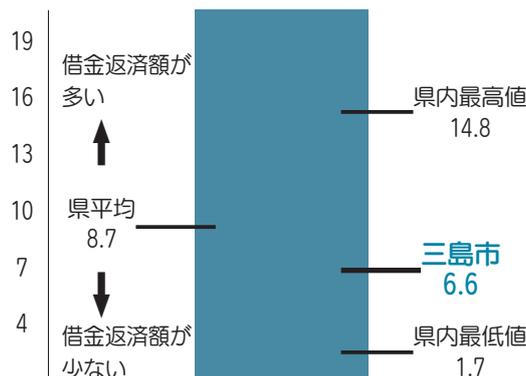


三島市の状況 81.6（県内順位：4位 /35市町）

今後は事務事業の見直しなど、行財政改革への取り組みを通じて経常経費の抑制に努めるとともに、市税を中心とした自主財源の確保にも努め、経常収支比率の改善を図っていきます。

経常収支比率 市の財政構造の弾力性を判断する指標で、歳出のうち毎年経常的に支出される経費が、市税など毎年必ず入ってくる一般財源（使い道が特定されない財源）に占める割合です。この比率が高いほど、財政が硬直化しています。全国的に福祉などにかかる経費が増えているため、この数値が高まっています。

◎実質公債費比率（借りたお金の影響はあるの？）



三島市の状況 6.6（県内順位：11位 /35市町）

今後も適正な水準を維持し、将来の負担を考慮した事業執行に努めます。

実質公債費比率 市町が1年間に使ったお金のうち、借金返済にどのくらい使われたかを見る指標です。25%を超えると、市が新たに借金をしようとする場合に一定の制限が加えられます。